



会員のひろば



武富 洋子

絵手紙教室

山本 満里子

一片二片(ひとひらふたひら)舞い飛ぶ
気の向くまま
赴くまま
薄紅色の花びら
春風のいたずら

友田 富美子

沈黙と無気力から
一気に解放された
春の訪れ
彩り添える花との再会
心の元氣もあふれくる

五行歌の会

川口 昭治

松の芯天に湧き立つ雲の峰
新緑やダム湖に綺羅の影落とす

俳句

『冥途喫茶』

メイドになりきった店員が、客を「主人」に見立てて給仕などのサービスを行う「メイド喫茶」。このメイド喫茶をもちり、群馬県桐生市で月1回オープンする「冥途喫茶しゃんぐりら」。

メイドは全員65歳以上と言うが、皆さん可愛らしく、生き生きと笑顔で接客し、若々しい。

気軽に立ち寄れる店舗（居場所）が少なくなってきた市の現状を踏まえ、高齢者の新たな居場所として誕生したと言い、おにぎりなどの食事サービスとともに、高齢者向けのワークショップ（認知症予防紙芝居）なども行われていると言う。今では高齢者だけではなく若い人も、全国から客が訪れるとか。

メイドさん達は、黒いワンピースにフリフリがついた白いエプロンと、頭には、これまたフリフリがついたカチューシャ。シャレが効いているのが、店内に入る時には「三途リバー」を通り、配膳のおまじないは「喪え、喪え、キュン、おいしくなあれ」、帰るお客さんには「この世に疲れたらまたお越し下さいませ」と送り出す。

照れがあり消極的だったというメイドさんも、今ではすっかり楽しんでいると言う。

この情報を知ってから3か月ほど経過し、改めてネット検索してみると、さらに新たな情報が！！冥途さんオーディションをやったり、冥途の土産までできていた！！おもしろい！！

自分の見てくれは…まあ置いといて…、ちょっとだけやってみたいなんて好奇心が湧いてくる。

場所と資金と発想豊かな人材と、私のような奇抜な仲間がいないと実現は難しいけどね。（笑）

妹尾 郁子

